

CAR No.34,35,36,37

スーパーFJ

アルビレックス・レーシング・チーム

PRESS RELEASE

Beyond

2013/3/31

Albirex-RT

スーパーFJ 富士シリーズ 第 1 戦

3月30日(土) 予選・決勝 1 LAP=4.563km 出走：7台

天候：くもり コース：ドライ 気温：8℃ 湿度：46% 路温：7℃

ドライバー： 神村 悠太 (アルビ RT 岩本商会 EDKK-S #34)

福島 政也 (アルビデジャヴビヨンド GIA #35)

太田 達也 (玉三郎 ED アルビ RT 岩本 10V #36)

中西 慶佑 (アルビメーカーウィナーEDGIA #37)

予選結果：太田選手 1位 福島選手 5位 中西選手 6位 神村選手 7位

決勝結果：太田選手 1位 福島選手 4位 中西選手 5位 神村選手 出走せず

**太田選手がポールトゥウウィン!!!**  
**スーパーFJ自身初の優勝!!!**



昨年から継続参戦の神村選手、2年ぶりにレースに復帰する福島選手、  
今季から新たに参戦する中西選手と合わせ4台体制に！

### ■3月30日（土） 予選

11時15分予選開始。前日までの練習走行のタイムから太田選手はポールポジションを十分狙える状況だったが、より確実にタイムを出すためにスリップストリームを利用したタイムアップを狙い、後ろから2番目にコースイン。この作戦が功を奏し、4周目に富士スピードウェイの特徴でもある長いストレートでうまくスリップに入りベストラップをマークする。しかし、その周回中にランオフエリアを走行したと判断され、ペナルティが下されることになり、その週のラップタイムは抹消されてしまう。

それでも10周目に記録した時計が全体のベストラップをマーク。2番手と0.413秒の差をつけ、余裕をもってのポールポジション獲得となった。

一昨年の日本一決定戦以来のレースとなる福島選手は、自身より速い選手のすぐ後ろを走ることによるタイムアップを狙って予選に挑んだものの、1アタックしたところでマシンのフィーリングがしっくりこなかったためピットイン。セッティングを再確認し再度コースインすると、予選最終周に自身のベストタイムをマーク、5番グリッドを獲得した。

中西選手はアタック開始後3周目に突如スローダウン、停止してしまう。すぐに動き出すがスロー走行のまま緊急ピットイン。メカニックがマシンを確認するも異常は見当たらず、再びコースインする。しかしまたもや同じようにスローダウン。結局アタックを中止し再度ピットに入り入念にマシンのチェックをしたところ、ガス欠と判明。ラップを重ねていけばより良いタイムが見込めただけに、もったいない結果となってしまった。

神村選手は福島選手のすぐ後ろのポジションでコースインするが、4周目にミッショントラブルが発生、コース脇にマシンを止めることになってしまう。結局、午後の決勝までに修復することは不可能な状況と判明し、記録上予選7番手をマークしたものの決勝レースは出走できない状況となり、やむなくレースを終える結果となった。

ポールポジションから初優勝へ！ 2位と11秒の大差をつけ危なげなくレースを制す！

### ■3月30日（土） 決勝

15時半決勝スタート。太田選手は好スタートを決めたが、2番手車両も太田選手以上の好スタートを決め、スタート直後の1コーナーで太田選手のインを刺そうと試みる。しかし、太田選手がうまく抑え込み1位をキープ。1コーナーを抜けると少しずつ2番手以降を引き離してゆく。結局、1周目から2番手との差を徐々に広げつつ、安定した落ち着きのある走りを披露。2位と10秒以上の大差をつけ危なげなく初優勝を手にした。

福島選手はスタート直後5番手をキープしていたが、他車のスピンにより4番手に浮上

すると 3 番手車両に接近しバトルを演じる。そして、ダンロップコーナーのブレーキングでインに飛び込むと 3 番手を奪取、表彰台圏内に入ることに成功する。しかし 4 番手車両も抜かれながらも激しく食らいついて行く。中西選手も少し遅れてホームストレートへ。3 台での 4 位争いとなってくる。

約 1.5 km もある長いストレートで 4 番手がスリップストリームを利用し福島選手の前に出て 1 コーナーへ。しかし、ブレーキング勝負でインに並んだ福島選手は立ち上がりで再び 3 番手に浮上する。ポジションをキープしたまま少しずつ差が開いて行くが、3 周目に 4 番手にダウン。その後も 3 台での混戦が続き、めまぐるしく順位が入れ替わる中、レースは進行していく。

中西選手は低速域でのエンジンの調子が悪くペースが上がらないながらも一時は 4 番手に浮上。しかし競り合いの末、6 番手にまで順位を落としてしまう。

その後何度も順位の入替えを重ね、レースは 4 番手に他チーム車両、5 番手に福島選手、6 番手に中西選手の順でファイナルラップへ突入する。

勝負どころとなるファイナルラップの 1 コーナー。4 番手車両がこの 3 台でのダンゴ状態でのプレッシャーからか、進入で車体のバランスを崩しスピン。直後を走っていた福島選手、中西選手はこのスピに乗じて 1 つずつポジションをアップ。最後まで集中を切らさなかった両選手はそのままそれぞれ 4 位、5 位でチェッカーを受けることとなった。

### ○太田選手コメント

レースウィークを通じて手ごたえは感じていたので、狙ったとおりの結果を出せて嬉しいです。特に、オープニングラップで後ろの車を抑えることができたのが大きかったです。シリーズチャンピオン獲得を目指して、第 2 戦以降もどんどん優勝を狙っていきたいと思います。

### ○福島選手コメント

まずは久しぶりにレースに参戦できて嬉しいです。内容は、決勝レース中はずっとプレッシャーのかかるバトルができました。抜きつ抜かれつの展開で、最終的に競り勝つ事ができてよかったです。この流れをうまく次戦に持っていきたいです。

### ○中西選手コメント

アルビレックスレーシングチームの一員として初参戦でしたが、エンジンの調子がイマイチで思ったようにペースが上がらず残念でした。ただ、その中でもバトルができて、最後はポジションを 1 つ上げる事ができてよかったです。次はもっといい結果を残したいです。

## ○神村選手コメント

練習走行からいいタイムが出せていたので、今回の結果は残念です。うまく切り替えて、第2戦ではいい結果が残せるように頑張りたいです。

## ○中村監督コメント

神村選手は29日のフリー走行まで非常にいい状態でタイムを出していたので、今回の決勝のリタイヤについては大変残念です。第2戦にはモチベーションを立て直して戦ってほしいです。

中西選手はウィークに入り、非常にドタバタとして状況でしたが、なんとか決勝に出走できるまで整い、また、5位に入った事をまず褒めたいと思います。ポテンシャルがあるだけに次回は表彰台に上がってほしいです

福島選手はフリー走行では本人の調子があまり出ず、不安要素がありましたが、決勝では一時は3位を走る快走を見せ、レース中、抜かれながらもまた抜き返す根性を見せてくれた事に成長を感じます。福島選手も2戦目では表彰台を狙える選手です。

太田選手はウィークを通して危なげのない組み立てをしてくれました。予選、決勝でも非常に落ち着いたアタックをかけ、太田選手自身初の優勝を勝ち取った事を嬉しく思います。今回はファステストラップは他選手にとられました。予選決勝と危なげなかったのので、第2戦ではファステストラップを含むグランドスラムを達成してほしいです。

総評として、今回の富士は非常にいい流れで活動ができました。富士シリーズをはじめ、他のシリーズでもこのままチーム一丸となって勝利の波に乗れるよう努力します。今後も応援宜しくお願いします。





Title		B-FJ・FJ1800 決勝レース	
Grid 1	No. 36	Grid 2	No. 41
Name 太田 達也		Name 今井 龍太	
Team 五三郎ED7K RT管本10V		Team B-MAX・D・D10V	
Grid 3	No. 22		
Name 赤城 龍臣			
Team A'-ス・オ・180WM10V			

総合順位 B-FJ・FJ1600 決勝レース

Pos	No	Name	Team	Lap	Gap	Last Lap	Best Lap
1	36	太田 達也	玉三郎ED7比 RT	12		1'53.053	1'52.510
2	22	赤堀 憲臣	A'-スカ150WA	12	11.608	1'54.065	1'52.995
3	41	今井 龍太	B-MAX・イト'以1	12	15.436	1'52.743	1'52.332
4	35	権島 政也	7比'デ'ン'ヤ'ビ'3ト	12	43.631	1'56.234	1'55.943
5	37	中西 康佑	7比'メ'ク'イ-EDGI	12	43.981	1'56.461	1'55.051
6	8	野村 大樹	WRB NOMURA	12	48.380	2'01.173	1'55.040
7	20	持島 昭一	IDI-ROMANTE	11	1Lap	2'05.352	2'02.612
8	7	笹尾 徹也	WRB SASAO E	11	1Lap	2'32.388	2'01.951
9	38	原田 健	7-ト'ク'EVOLEx	11	1Lap	2'05.529	2'04.576





**P PLUS**  Nankai Plan Co.,Ltd. 
 **鈴木会計**  <http://www.tcnf.com/sds>
**MID Japan Inc.**  Mitsui Impres Development



- ・ Zip Auto ・ KAISHIN AUTO ・ 榎本自動車整備工場 ・ 山田モーター
- ・ 東栄ボディー ・ 新潟オートシステム ・ Car Factory 雅美 ・ 堀モータース
- ・ みがき屋エンマ ・ Power Station ・ カイツ自動車 ・ トップオート ・ エムズ